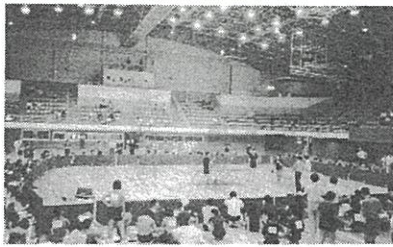


スポーツ川崎

より速く より強く より高く

川崎市体育協会
紙報第7号
編集発行
川崎市体育協会
委員
200-3312
印刷所
第一サンエー
222-2356



市体育館での交流風景

日中友好都市 卓球交歓川崎市大会 盛大に開催される

日中国交正常化10周年を記念し、中国卓球友好代表団一行69人が9月17日大阪空港着、来日された。その後6班に分散して友好都市を訪問、それぞれの都市で交歓大会を開催した。川崎市に於いては友好都市を結んでいる中国瀋陽市体育運動学校コーチ、選手3名を含む一行10名が9月20日に川崎市を訪れた。中国卓球協会副主席の董連璧第1班

監督他選手は伊藤三郎市長を表敬訪問。午後6時から川崎区南町の菅原会館で開かれた「日中友好都市交歓卓球大会歓迎レセプション」に出席した。レセプションには、市幹部職員、市卓球協会等関係者100余名が集い、工藤庄八助役の歓迎のあいさつに対し、董監督より「中日両国には伝統的な友情がある。卓球を通じ友好都市の交流も深まるでしょう。そして又、両国民が子々孫々まで変わぬ友情の続くことを願っている」旨あいさつがあった後、ボランティアの通訳を介し中国選手の実習方法についての質問、その他懇談に花が咲き、あちこちで記念写真撮影、日中歌の競演特に現在中国で流行している北国の春を美声で唄った顧建雄



菅原会館でのレセプション

選手、家庭婦人と中国女子選手で唄った四季の唄等、和気あいあい友好を深めた。

翌21日午後2時から川崎区富士見の市体育館に於いて開催の「卓球交流の集い」を開催、市内中、高校54校卓球部員22人と

市家庭婦人主婦16人の計240人を相手に中国選手8人が、一人3分ずつ手合せ、実技指導した。指導を受けた選手は自分の不得意なことを重点的に、サーブ、カットなど、細かく指導を受けた。又個

(次頁つづく)

外野席

老人スポーツ
に想う

我が国の男子の平均寿命は世界一となった。

それに伴い老人スポーツも益々盛んになるであろう。しかし、各人、個人差もあるので、強要強制させるものではないので充分自分の体調等を考えて参加をしてもらいたい。

たまたま8月に千歳国際マラソンと、御殿場マラソンの企画委員として参加し、70歳以上の数百名の老人が、緑したたる樹海の中を黙々とマイペースで5キロマラソンを完走した姿を拝見して深い感動を覚えた。

しかし、それに反して過日新聞紙上に、ゲートボールに熱中した老人が、ゲームに夢中のあまり傷害事件を起こしたとことと比較して、老人スポーツはマイペースに気楽に快よく自己体力の維持の為にやってみよう。

人指導終了後、高体連代表者の質問に答え、練習方法、投げサンプについて実技で説明、特に中学生選手について基本技術、基本を忠実にいうべきと基本プレーの大切さを強調された。最後に男女・女シングルス・混合ダブルスの模範試合を披露、すばらしいラリーの応酬に、参加者から感嘆の声があがった。レベルの高い中国選手について「サーブの切れが鋭いのびびっくりしました」「天変勉強になりました」等々参加者にとって大変有意義なスポーツ交流であった。又交流の集いのあとつづいて夜は指導者懇談会が開催され、全体会、グループ会で、中国卓球の普及、及び普及策、指導法等、中・高体連指導者が真剣に討議された。中国卓球の強さの秘訣は短時間集中方式で基本技術の反復練習にある様です。一行は9月29日に全員が東京に参集し中央交歓大会と「国交正常化10周年を祝う国民のつどい」に参加、多くの成果をあげ帰国した。

くにびき島根国体観戦記

弓道競技

このたび国民体育大会を視察することになり、10月2日夜横浜駅を出発した。ここ2ヶ月間の土・日曜日は雨ばかりで、当日も早朝より豪雨で明日の開会式も心配されたが、一夜明けると、ぬける様な青空が広がり松江市の主競技場で行われる開会式に集まった人々は一様に「神話の国島根、出雲の神様のおかげ」と喜んでいた。



選手と観衆の遠くから見た神奈川選手は、明治神宮は、明治神宮・神奈川県立武道館と同様に10人立ちで、

れば3年前から練習を重ねたとか。特に主婦中心の約3千人の「くにびき」を表現した一糸乱れぬ公演演技は大いに感心させられた。翌4日大田市で行われている弓道競技の応援に出掛けたのであるが、宿舎より約3時間の距離にあり、観戦する者にとあって少し不便であった。設備は新築されたもので間口

さて開会式の前に行われた県民総出の大デモンストレーションは、老若男女それぞれ真剣に実施され、聞くところに依

高校では日本一の設備となるわけである。折から三笠宮殿下御夫妻の御臨席と重なり選手役員一同

大いに張り切っていた。技術的な面では各県共にレベルは高く予選では、24射21中以上でなければ通過しない有様で、各県監督の心労とコンディションの持統は大変な事である。又次回開催県の群馬の役員が各種調査しているのがあらゆる会場で、目にはいった。今回の視察で感じた事は島根県は人口78万人過疎県であるにもかかわらず、会場施設内容や運営面など非常に充実していた。又県全体の団結と「やる気」がいやと云う程伝わってきた。

いに助かった。開会式典の感想は省略し、卓球競技種目について報告したい。

卓球競技

神話と伝説による国造りをテーマにした「くにびき国体」島根県は、なんとなく神秘性を感じさせた。県民の願いが天に通じたのか、前日の雨もあがり国体開催期間中晴天に恵まれ、行動するのに大

少年男子は関東ブロック予選にて脱落し不参加。少年女子は主将細矢がウイニングボールを握り、予選リーグ選を難なく通過し、決勝トーナメント準決勝戦で強豪青森に3対1にて快勝、決勝戦で、今年インターハイ決勝にて惜敗した福岡と対戦。一喜一憂のうちチェース同志激突となり良く頑張り3対2で宿敵を下し、神奈川初優勝を飾った。成年男子は4度目の制覇。トーナメント戦順調に勝ち進み、準決勝戦東京と対戦1セットも与えず3対0にて完勝決勝に進出。昨年苦敗を喫した静岡を迎える。トップOBが有利に勝

ちすすみ3対1にて雪辱優勝した。

球競技会場迎



卓球少年女子選手を囲んで

成年女子は2年連続制覇。決勝トーナメント準決勝戦14回制覇の優勝者東京と対戦し、一進一退後ラスト主将神田がエース川東を破り3対2にて振切った。決勝戦は千葉と戦い3対1にて快勝優勝した。

柔道競技 国びき国体の開催地島根県は、神話の国である。尚武の気風に支えられた松江市の県立武道館は、隣接の松江城と共に、柔道会場として荘大なものであった。 昨年を含め通算5回の優勝実績を持つ神奈川県勢は、結団式に於いて各種目最低3位入賞の大好令に應えるべく、十分の勝算をもって出発した。 少年男子の林田監督は5段で、監督経験も5回におよび、次鋒の関水選手は高校総体優勝者である。1回戦は不戦勝、2回戦宿敵の福岡には関水の鮮やかな立四方固めで1本、これを全力で守り決勝、しかし3回戦愛媛には、関水の押技1本を守れず、2点を献上し惜敗は残念。成年男子監督は、全日本強化コーチ佐藤宣彦7段である。

昨年優勝時の山下5段を欠くがポイントゲッター副将白瀬5段(全日本選手権3位)と次鋒宮腰3段(世界学生選手権優勝)を配し、他の3選手は県警を主とした猛者である。 1回戦は不戦勝。2回戦岩手、3回戦広島を夫々3対0・2対0と破り、4回戦千葉を倒し準決勝進出と勇躍したのである。 しかし白瀬の不覚の1敗で流れが変わり3位となり優勝は断られた。 林田・佐藤監督のもと全力を尽くして呉れた選手達に心から御苦労様と声をかけた。国体お祭り気分一掃の論議がある。 しかしスポーツを通じ開催県の美しい風土と人情にふれ、各県民の連帯と相互理解が得られるなら、多少のお祭り気分も許されるのではないかと。 国びきの美しい島根に別れを惜しみ、種々の感激を新たに、黄昏の出雲空港を飛び立った。

県総合体育大会秋季大会報告記

バドミントン競技

県総体バドミントン大会が、9月19・26日の2日間、相模原市市民体育館において行なわれた。 本大会において川崎市代表チームは、昨年、一昨年と2年連続決勝戦まで駒を進めながらいづれも横浜チームに敗れている。そこで「今年こそは!!」という意気込みも新に男子5名、女子4名のガッツあるチームで大会に望んだ。各市場から選ばれた選手が集まった大会だけにレベルの高い、激しい試合が展開された。



敗り、2回戦は強豪平塚市と対戦したが、女子選手が予想以上の粘りをみせて3対1と圧勝。 大会は9月26日の2日目に入り、準決勝は大和市を3対1で圧勝し、いよいよ決勝戦に駒を進めた。対戦相手は過去2年間、いづれも決勝戦で敗れた横浜市と決った。試合はゲームカウント2対2となり最後の男子シングルスに望みをかけた。富士通青木選手の必死の粘りとチーム全員の声援に、試合は盛り上がり会場は関係者の注目を集めた。しかし必死の頑張もむなしく、おしくも敗れ今年も優勝杯を手にする事は出来なかったが、本大会の成果を生し「来年こそは優勝だ」と気持を新たに大会会場を後にした。

軟式野球競技

9月19日、今にも泣き出しそうな、厚い雲がたれこめた茅ヶ崎球場、昨年2回戦にて敗退の屈辱の意気を燃して、参加した我がチーム(冶金訓練生)であった。

日程が、学期末テストと重なり、やや練習不足であったが、持ち前のチームワークの良さと、若さと、ファイトがうまくかみ合い、5回目の出場にて、初の優勝を遂げる事が出来、この上のない喜びである。

1回戦は三浦郡代表。猛打と相手守備陣の乱れに乗じて、16対0と思われぬ大勝。2回戦は高座郡代表との対戦。心配された天気が崩れ出し、雨模様の中、初戦の大勝で気を良くした選手は、攻守にハ・ラ・ツ・ツが見られ、2対0と快勝であった。昨日までの台風の影響に

よる風雨が嘘の様な好天に恵まれた26日は、絶好の野球日和となった。準決勝は藤沢市代表、両投手の好投と好守、好打の緊迫したゲーム展開で互いに譲らず、結局0対0の延長8回時間切れ、引分けとなり、抽選勝で決勝進出を決めた。決勝戦は南足柄市代表、前半やや押れ気味のゲーム展開となったが、中盤の3回チャンスを生かし1点を先取し、投手を盛り上げた好守と、ファイトで守り抜き、快勝、初優勝を為し遂げた。

選手達にとって、全試合共、非常に苦しい試合内容であったが、言葉ではいい尽せぬ尊い経験が出来たと思う。また、この初優勝が川崎市総合成績の上位進出に、少しでも貢献出来た事を嬉しく思う次第である。



弓道競技



前日まで台風19号で荒れていた空も、太陽がまぶしく照りつけて気温も上り、真夏を思わせる好天の中、9月26日の県総体弓道競技が開催された。早朝より17都市の90余の選手が集まって定刻に開会式が始まり、競技は矢渡し(やわた)の儀式にひきつづいて行われた。

会場は今年7月完成したばかりの武家屋敷を想わせる県立武道館の弓道場で、12人が一緒に競技できるようになっている。わが川崎市代表のチームは一般の部に出場し、昨年の雪辱を期して(初回

戦で伊勢原市に惜敗)頑張った。

先ず第1回戦は20射中(一人4本づつ弓をひき計5人で20射という)16対12で横浜市チームに勝った。第2回戦(準々決勝)は、足柄上郡に勝ち平塚市にも勝った南足柄市と対戦したが、11対11の同点で決着つかず、両チーム各自1射づつの競射となり、かたづを呑んで見守る中、1回目は3対3、2回目は2対2で決着つかず、更に3回目3対2で負けてしまった。

結局善戦むなしく第5位となったが、来年こそはもっと安定した力が発揮できるような頑張って鍛錬に励んでいきたいと思っている。

なお当日は川崎市弓道連盟より、金子三郎監督松浦信雄四段、飯塚順軌三段、松田敬三五段、新井恒雄五段、石渡澄穂四段の6名が参加、健闘した。

水泳指導員養成講習会を終了して

川崎市において、水泳普及事業を推進する場合、水泳指導員の状況が必ずしも充分な状態にあるとはいえない。

そこで、市教育委員会市体育協会の後援を得て今回水泳協会では市内在住の勤者の満20才以上の男女を対象に、第1回水泳指導員養成講習会を開催した。

今回、日本水泳連盟公認第2種水泳指導員の検



水泳実技講習会

定内容にもとづいて、神奈川県水泳連盟より検定委員の指導(延べ30名)のもとに9月26日、10月3日、10月24日の3日間にわたり、市内富士見台小学校、サギヌマスイミングクラブ(温水プール)で学科と実技の講習、検定を行った。

受講者43名の方々が、日曜日にもかかわらず、午前9時～午後5時迄、講師の講義をひとことも逃がすまいという態度で受講していたのが印象的だった。また実技では4泳法(クロール、背泳、平泳、バタフライ)と潜行横泳ぎ等、で、大分苦しんでいる人、余裕のある人、受講者同志でアドバイスしあっている姿が目についた。

3日間の講習、検定の結果、最終日には、県水泳連盟会長による検定合格者との個人面接が有り指導員としての心構えと不合格者に対しても今後についての適切な、アド

バイスがなされた。検定合格者は18名、合格率44%という優秀な成績で講習会を無事終了した。

(参考：横浜市と県は、10%～15%の合格率)今後、受講希望者も年々増加の傾向にあるため協会としても積極的に年間事業として、講習会を毎年実施する方針である。

今回の講習会を開催するに当り、県水連、市教委、市体協、富士見台小学校、サギヌマSC等のご協力に紙面をお借りしてお礼を申し上げたい。

川崎水泳協会事務局
田島小学校内
〒210川崎区渡田1-20
1 福島宣充
(333) 8436

10月10日体育の日
市内各地の諸行事

10月10日体育レクリエーションの各種の行事が各地で盛大に行われ、参加人員総計3万人とも云

われ市民参加は年々増加の一途をたどっている。

◆等々力公園会場
午前9時30分健康広場で各種参加団体合同開会式が行われた。中野体協副会長、岩淵教育長の挨拶があり全員が健康指導のもとにラジオ体操に参加した後に各会場に分散



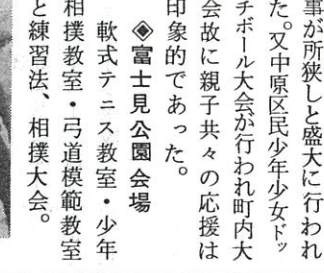
親子ラグビー教室



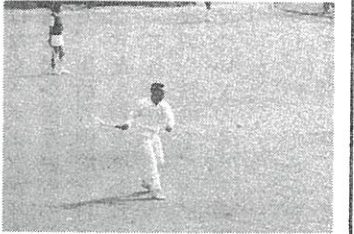
フォークダンスのつどい

した。この会場では、チャリティヘラブナ釣り大会・歩け歩け大会・親子サッカー教室・硬式テニス教室・少年野球教室・フォークダンス・川崎音頭普及会の民謡大会・野外社交ダンス・オリエンテーリング・親子ラグビー教室・陸上競技大会等、体育・レクリエーションの各行事が所狭しと盛大に行われた。又中原区民少年少女ドッチボール大会が行われ町内大会故に親子共々の応援は印象的であった。

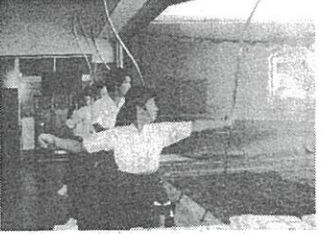
◆富士見公園会場
軟式テニス教室・少年相撲教室・弓道模範教室と練習法、相撲大会。



少年相撲教室



軟式テニス教室



弓道模範教室

◆大師公園会場
硬式テニス教室、少年野球教室。
◆石川記念武道館
柔道・剣道・合気道・心身統一合気道・少林寺拳法、その他市体育館でも各種トレーニング、年令別体力テスト等が行われた。

スポーツ今昔 東芝女子スポーツ



全日本バスケットボール選手権優勝 東芝女子

東芝女子バスケット部は、昭和29年度第21回大会以来4年目、第25回女子全日本バスケットボール選手権大会に優勝し、皇后杯を再度獲得した。この時男子は、日本鋼管が3連覇の偉業を遂げた。本大会は、決勝リーグ戦で、3者同率であったので、大会規定で、東芝・日紡・興銀の3チームが2勝1敗のため得点12点で東芝が優勝した。昭和29年について東芝は2

度目の皇后杯を掌中に入れた。当時の日刊スポーツ徳岩記者は次のように報道している。

日紡59—27—24
32—30—54 東芝

2戦全戦の東芝と、1戦1敗の日紡の対戦は日紡が勝っても、点の差をつけなければ、東芝に優勝が持ち去られると云う試合であった。日紡は滑り出しから桜井の好リードで対人防禦を固め、攻めては山元、難波の速攻で4対1と先行した。東芝も持摩、高柳のポスト・プレーで第1クォーター終了の時13対14と1点差につめよった。第2クォーター15分、日紡は品治が反則で早くも退場。その虚をついて東芝は19対18と逆転したが、前半終了間ぎわ、日紡は27対24と盛り返した。ところが東芝もポスト攻勢、或は切り込み戦術で日紡に食いが下がったが5点差で敗れた。しかし持点10点差で結局優勝した。

市内企業体育施設の現況

社 46.9%、学 校銀行は0社0%とな

本市には、各種の事業場があり、これら従業員のために各種スポーツ・体育施設を設け、体力の増進を目指している。その施設は企業の90%が完備しており、これらの各種施設を一般に開放しているだければ、市民の得る利益は多大なものがある。過日、市教育委員会体育課が、市内150名以上の事業場182社にアンケートを求めたところ、次のような結果が得られた。

回答数は119/182で65.3%であった。

スポーツ施設のある企業

500人以上	30社	90.9%
300—499人	18社	69.2%
150—299人	26社	53.0%
学校銀行	11社	100%

施設がないと回答してきた事業所は、34社28.5%で500人以上3社、300人—499人は8社、150人—299人は23社、30.7%、150人—299人は23

スポーツ施設の開放状況

500人以上	12社	40.0%
300—499人	5社	27.7%
150—299人	3社	11.5%
学校銀行	6社	54.5%

以上の数字が示すように26社30.5%が開放されている。非開放は58社68.2%で検討中は1社11%である。

スポーツ施設の開放種目

バレーボール	13/30面
バスケット	12/27面
卓球	68/114台
バドミントン	35/71面
テニス	2/5面

これらの施設の開放内容については他都市では見られない。地域社会に開かれた状況で、一例をあげると、松下電器東京体育館(多摩区生田)はバレーボール2面を地域婦人等に午前・午後の2部制とし、一般開放をして感謝されている。

編集後記

11月中旬ともなると紅葉前線も南下し、朝晩冷えこむようになりましたが、皆さんはスポーツに励んでおられますか。本号では国際交流大会島根国体、県総体、体育の日等々の行事を中心に集録してみました。従来、スポーツは「行うスポーツ」より「見るスポーツ」に傾いているらしいが、最近は何種類にわたって「行うスポーツ」が普及してきました。

この背景には、理屈ではなくスポーツが社会生活に欠かせないものとして、生活の中にとけこんできたものと思われまふ。これを機会に皆さんの地域や職場で、スポーツについての考え方や実施のしかた等、色々な論議をしていただきたいと思います。